

あいら フットパス

さと れんげの里コース MAP



フットパスとは？

イギリス発祥の、森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を、楽しみながら歩くことができる小径（こみち）のことです。

フットパスのコースを整備することでまちづくりのきっかけになると注目され、日本でも広まりつつあります。

コースを構成する小径は、地域に住む人々の長年に渡る、自然への愛着や生活の中で作り上げられてきたものです。

始良市でも、観光協会が中心となり、この「あいらフットパス」を通じて地域の魅力の発見、再確認に繋がればと、コースの選定に取り組んでいます。



れんげの里コースについて

所要時間約1時間、距離約3kmの、堂山地区交流拠点施設「えぼし館」をスタートし、日本の原風景の残る集落を巡るコースです。

スタート地点は、昭和43年に廃校となった「堂山小学校」跡地であり、木場・堂山・山花、3つの集落で形成される北山上自治会の「れんげの里プロジェクト」の舞台でもあります。

春にはれんげ、夏には清流のせせらぎ、秋には豊かに実った稲穂、そして冬には夜空に広がる満点の星。四季を通して豊かな自然を感じられる場所です。

地域の営みを感じながら、ゆっくりとした時間の流れを感じてください。付近には商店も自動販売機もありませんので、歩く際には飲み物などご用意ください。

見どころ・スポット紹介



1 れんげまつり

地元自治会が中心となり平成27年に立ち上げた「れんげの里プロジェクト」
過疎化に悩む集落で、多くの人に訪れてもらおうと昔ながらのれんげ畑を再現させました。
4月下旬から5月初めにかけて、見事なれんげ畑が広がり、盛大なイベントが開催されます。



2 烏帽子岳

始良市最高峰 702.9m
四季折々の植生と、野鳥のさえずりが聞こえる、自然豊かな登山道を登ると、山頂では桜島をはじめ霧島連山まで見渡せます。



3 源五郎淵

住民がプール代わりに遊んでいた自然の川です。山から湧き出る水をたたえた清流で、アユやモクスガニなど生き物も豊富です。



4 柱松 (はしたまつ)

古くから地元に伝わる行事。例年8月のお盆の時期に行われます。地上から7～8mの高さに設置されたウキ（竹かご）めがけて火のついたアカシ（松明）を投げ入れ、燃やします。お盆の迎え火、送り火として行われています。



5 火の神祭り

昔、集落に火事が多かったことから、奉納相撲を行い火の神を鎮めたことが始まりです。
近年は住民の運動会として変遷し、五穀豊穡に感謝する収穫祭の意味合いも併せ持ちます。例年10月下旬に行われます。



6 もやしの川

昔はお正月前になると、子供たちが競って「豆もやし（おやし）」を育てた川があります。山から湧き出る清流で、夏にはホタルも見ることができます。

お問い合わせ

あいらフットパスホームページ
始良市観光協会内

あいらフットパス

検索



あいらフットパス実行委員会事務局

TEL : 080-2720-6521

Mail : aira.kanko112@gmail.com

WEB : <http://aira-kankou.jp/footpath/>

